

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！
業務停止処分、弾劾！怒りの第2波順法闘争を貫徹し

10.30

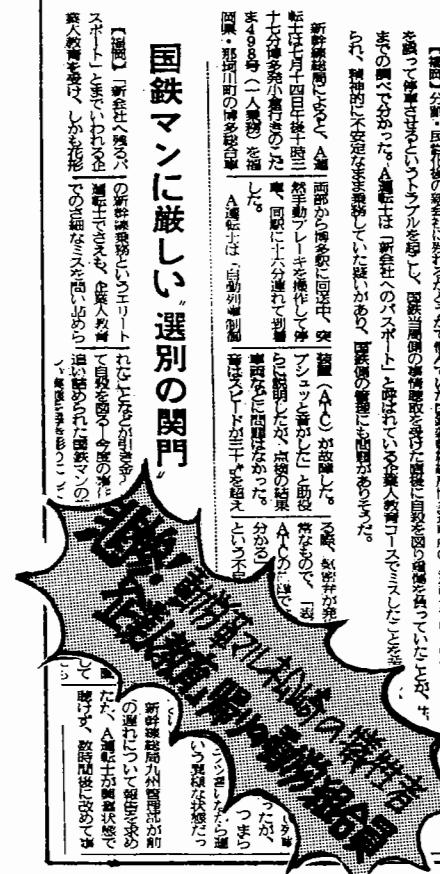
清水谷から国会へ

新幹線運転手自殺図る

(10/26 東京)

企業人教育ドリミス苦に

心身症？異常な操作も



国労右派の裏切り
—署名運動—を許すな
ことなのだ。

国鉄を解体し、十万人の首を切り、長期債務の三七兆円を国民におしつけ、ひとにぎりの独占資本・政治家が私腹を肥やそうとする中曾根の「分割・民営化」政策のデマとペテン性が明らかになるや、国鉄法案を強行成立させることで、いっさいの矛盾をおおいからてしまい、国鉄労働者の怒りを、反撃を圧殺しようとする暴挙を行つてきただ。

「分割・民営化」は十万人の首切りだ。国労解体の攻撃だ。「共同宣言」派が自民党にスリ寄り「自分でけ」助けてもらうなどという裏切りが通用するわけがない。希代の大裏切り者 動労革マル・松崎の姿をみる。自民党と鉄労の「新事業体から革マル排除」の声に、中曾根・杉浦への忠誠の証しである国労破壊へさらに血道をあげているではないか。

国労「共同宣言」派は「労使共同宣言」署名運動をもつて国労の分裂・解体を策動する大裏切りいでている。

反動中曾根内閣は、十月二十四日、衆議院国鉄特別委員会で国鉄「分割・民営化」法案をとおしても「分割・民営化」の破綻はつぎつぎに暴かれた。にもかかわらず、国鉄国会に國鉄労働者の怒りが反映されたか、絶対にそうではない。動労千葉は、国鉄法案阻止をかけ、十月二十日からの第一波順法、そして、二七日から第二波順法闘争に突入した。ものはや鮮明だ。國鉄労働者の決起が一切を決する。10・30 清水谷公園に結集し、断固たる国会包囲デモに総決起せよ。

国労右派の裏切り
—署名運動—を許すな

崎、真国労の道を歩むことなのだ。

動労革マル延命

のために

労働者を地獄に

突き落す

闘う方針を

何ひとつ出さず、国労崩壊を許してきた国労旧執行部は、「雇用を

守るために、いま闘つてはダメだ」とい

なし、国鉄労働者を暴力的に差別・選別する不

当労働行為すら容認しようとしているのだ。

この現実をみてみよ。

動労革マルは「雇用を守る」と称し「労使共同宣言」を結び、当局の奴隸になることを労働組合自らが強要し、企業人教育

にいけば残れる。出向にいけば、オレンジカード

ひきすり込まんとする國労右派の策動を断じて許してはならない。

そこへ 国労組合員を

博多運転所の動労組合員が動労革マルの犠牲となつたのだ。

いまほど国労、国鉄労働者の必死の反撃が求められている時はない。決起せよ。

日刊動労千葉

86. 10. 28

No. 2392

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二二七二〇七

千葉動労が
また順法闘争

27日から3日間

国鉄千葉動力車労組(中野洋

委員長 九百六十七人)は、二

十七日から三日間、千葉県内の

十線区で順法闘争を行う、と三

十五日発表した。同労組の順法

闘争は二十一二十二日に次ぐ第

二波。乗務員については始発か

全員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！